

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月29日  
東

上場会社名 インヴァスト株式会社 上場取引所  
 コード番号 7338 URL <https://www.inv.inc/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川路 猛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(管理部門担当) (氏名) 大村 祐一郎 (TEL) 03-6858-7105  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	2,196	—	2,156	—	200	—	538	—	348	—
2021年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 465百万円(—%) 2021年3月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第2四半期	円 銭 59.31	円 銭 —
2021年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	121,273	11,084	9.1
2021年3月期	112,132	10,726	9.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 11,075百万円 2021年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	19.00	19.00
2022年3月期	—	18.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期実績はありません。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	5,876,331株	2021年3月期	5,876,331株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	一株	2021年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	5,876,331株	2021年3月期2Q	一株

(注) 当社は2020年10月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は利益の配分について、安定的な配当の継続を前提としつつ、業績に応じた適切な利益還元を行うことを基本方針とし、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行ってまいります。

配当は、連結配当性向30%または連結純資産配当率(DOE)2%(年率)のいずれか高い方を目安とし、実施いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2020年10月1日に単独株式移転によりインヴァスト証券株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同期と比較を行っている項目については、インヴァスト証券株式会社の2021年3月期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）と比較しております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一年遅れで開催された東京オリンピック・パラリンピックという重要イベントがあったものの、ほとんどの競技が無観客開催となったことや海外からのインバウンド消費が消滅したことなどで景気浮揚効果は少なく、経済活動の停滞や企業収益の鈍化が継続しました。

外国為替市場では、世界的に新型コロナウイルスの変異株拡大懸念が強かったものの、米国のインフレ懸念を背景にした米金利先高観を受けて、ドル円は107円から112円のレンジで、堅調な推移となりました。リスクオン・リスクオフ両局面で、ドルと円が同様の動きとなる傾向が強く、クロス円はドル円とは連携せず、この期間を通じてやや軟調な値動きとなりました。

株式市場は、米国を中心とした先進国の景気回復期待と、金利先高懸念及び中国の景気鈍化懸念が綱引きする展開となりましたが、世界的な財政拡張効果が資本市場を後押しするとの見方も強く、米国の主要株価指数は夏にかけて史上最高値を更新する結果となりました。

このような経済環境のもとで、インヴァスト証券を中心とする国内金融事業は、主力サービスである「トライオートFX/ETF」の機能追加やキャンペーン等のマーケティング施策を行ったものの、純営業収益は前年同四半期を下回る13億75百万円（前年同四半期比89.5%）となりました。しかしながら、新サービス「マイメイト」の実取引化に向けた先行投資も継続するなか、状況に応じたコストコントロールにより減収をカバーし、セグメント利益は1億3百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント損失）となりました。

また、海外金融事業であるオーストラリアの子会社Invast Financial Services Pty Ltd.は、法人向けブローカレッジ事業及び個人向けDMACFDサービスが順調に拡大し、純営業収益は8億25百万円（前年同四半期比132.2%）となり、セグメント利益は1億19百万円（同237.1%）となりました。

こうして、当社グループの当第2四半期連結累計期間の営業収益は21億96百万円（前年同四半期比101.8%）、純営業収益は21億56百万円（同100.7%）となりました。

販売費・一般管理費は全体で19億55百万円（同93.5%）となり、純営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は2億円（同396.6%）となりましたが、匿名組合投資利益3億44百万円を営業外収益として計上したことにより、経常利益は5億38百万円（同7,588.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億48百万円（前年同四半期は2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、匿名組合投資利益は、子会社が出資しているファンドの運用成績等を反映したものです。第1四半期連結会計期間において、出資ファンドのひとつである「500 Mobile Collective L.P.」において売却利益が発生したことが主な要因となり、2億77百万円を計上いたしました。さらに、第2四半期連結会計期間において、「IMJ-IP Global 3号」において売却利益が発生したことにより、66百万円を追加計上した結果、当第2四半期連結累計期間において、合計3億44百万円の匿名組合投資利益を計上しております。

主な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

①受入手数料

当第2四半期連結累計期間の受入手数料の合計は4億22百万円（前年同四半期比112.0%）となりました。

内訳は以下のとおりであります。

- ・取引所為替証拠金取引に係る受取手数料 96百万円（同71.0%）
- ・その他の受入手数料 3億26百万円（同143.8%）

②トレーディング損益

当第2四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、14億96百万円（前年同四半期比95.8%）となりました。これは店頭FX/CFD取引によるものであります。

③金融収支

当第2四半期連結累計期間における金融収益は、54百万円（前年同四半期比153.6%）となりました。

一方、金融費用は40百万円（前年同四半期比253.8%）となり、これを差し引いた金融収支は14百万円（同72.1%）となりました。

④販売費・一般管理費

当第2四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、19億55百万円（前年同四半期比93.5%）となりました。主な内訳は以下のとおりであります。

- ・取引関係費 4億58百万円（同80.5%）
- ・人件費 7億84百万円（同121.9%）
- ・不動産関係費 4億73百万円（同74.4%）
- ・事務費 38百万円（同291.2%）
- ・減価償却費 74百万円（同67.5%）
- ・租税公課 76百万円（同94.5%）
- ・その他 50百万円（同131.4%）

⑤営業外収益

当第2四半期連結累計期間においては3億45百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

- ・匿名組合投資利益 3億44百万円
- ・その他 1百万円

⑥営業外費用

当第2四半期連結累計期間においては7百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

- ・為替差損 7百万円
- ・その他 0百万円

⑦特別利益

当第2四半期連結累計期間においては0百万円の特別利益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

- ・金融商品取引責任準備金戻入 0百万円
- ・新株予約権戻入益 0百万円

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して91億40百万円増加し1,212億73百万円となりました。流動資産は、89億94百万円増加し1,196億51百万円となりました。

流動資産の主な増加項目は、預託金の増加57億88百万円、現金・預金の増加17億39百万円、外為取引未収入金の増加5億37百万円、短期差入保証金の増加6億75百万円であり、一方、主な減少項目は、その他の減少1億35百万円であります。

また、固定資産は、前連結会計年度末と比較して1億45百万円増加し16億22百万円となりました。

### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,101億88百万円となり、前連結会計年度末と比較して87億81百万円増加しました。流動負債は、87億53百万円増加し1,100億51百万円となりました。

流動負債の主な増加項目は、受入保証金の増加75億29百万円、短期借入金の増加22億円であり、主な減少項目は、外為取引未払金の減少7億99百万円、前受金の減少2億59百万円であります。

また、固定負債は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し1億29百万円となりました。

特別法上の準備金は、7百万円となりました。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は110億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億58百万円増加しました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億48百万円の計上であり、主な減少要因は配当金の支払いによる1億11百万円であります。

この結果、自己資本比率は9.1%（前連結会計年度末は9.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応するため、従業員の在宅勤務（テレワークの活用）、時差出勤等を適用しておりますが、事業活動に大きな影響は生じておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	6,943	8,683
預託金	31,678	37,467
顧客分別金信託	8,950	14,000
顧客区分管理信託	22,432	23,321
その他の預託金	295	145
短期差入保証金	52,955	53,631
外為取引未収入金	17,608	18,146
短期貸付金	1,119	1,509
その他	354	218
貸倒引当金	△3	△4
流動資産計	110,656	119,651
固定資産		
有形固定資産	137	162
無形固定資産	448	481
投資その他の資産	890	978
投資有価証券	119	120
出資金	514	585
繰延税金資産	38	51
その他	218	222
貸倒引当金	△0	△0
固定資産計	1,476	1,622
資産合計	112,132	121,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
受入保証金	83,496	91,025
短期借入金	1,800	4,000
前受金	259	—
外為取引未払金	15,210	14,410
未払法人税等	54	231
賞与引当金	37	30
役員賞与引当金	19	16
その他	420	336
流動負債計	101,297	110,051
固定負債		
繰延税金負債	86	114
その他	13	15
固定負債計	100	129
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	7	7
特別法上の準備金計	7	7
負債合計	101,406	110,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	7,646	7,646
利益剰余金	2,422	2,659
株主資本合計	10,569	10,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	235	306
為替換算調整勘定	△83	△36
その他の包括利益累計額合計	152	269
新株予約権	4	8
純資産合計	10,726	11,084
負債・純資産合計	112,132	121,273



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業収益	
受入手数料	422
トレーディング損益	1,496
金融収益	54
その他の営業収益	223
営業収益計	2,196
金融費用	40
純営業収益	2,156
販売費・一般管理費	
取引関係費	458
人件費	784
不動産関係費	473
事務費	38
減価償却費	74
租税公課	76
その他	50
販売費・一般管理費計	1,955
営業利益	200
営業外収益	
匿名組合投資利益	344
その他	1
営業外収益計	345
営業外費用	
為替差損	7
その他	0
営業外費用計	7
経常利益	538
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	0
新株予約権戻入益	0
特別利益計	0
税金等調整前四半期純利益	539
法人税、住民税及び事業税	204
法人税等調整額	△13
法人税等合計	190
四半期純利益	348
親会社株主に帰属する四半期純利益	348

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2021年4月1日  
至 2021年9月30日)

四半期純利益	348
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	70
為替換算調整勘定	46
その他の包括利益合計	117
四半期包括利益	465
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	465

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内金融事業	海外金融事業	合計		
純営業収益					
外部顧客への純営業収益	1,352	803	2,156	—	2,156
顧客との契約から生じる 収益	348	296	645	—	645
受入手数料	215	206	422	—	422
その他の営業収益(外 部顧客)	133	90	223	—	223
トレーディング損益等の 金融商品収益(注) 1	1,021	528	1,550	—	1,550
その他(注) 1	△ 18	△ 21	△ 40	—	△ 40
セグメント間の内部純営業 収益又は振替高	23	21	44	△ 44	—
計	1,375	825	2,201	△ 44	2,156
セグメント利益	103	119	222	△ 21	200

(注) 1. トレーディング損益等の金融商品収益の内訳は四半期連結損益計算書のトレーディング損益及び金融収益であります。その他の内訳は金融費用であります。

2. 「調整額」は次のとおりであります。

(1) 純営業収益の調整額△44百万円はセグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△21百万円はセグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。